

やってみよう！健康経営！
～住化エンバイロメンタルサイエンスの健康経営～



2025年9月2日



Let's be Adventurous
—夢に挑戦し続ける—



前田 徹次

Maeda Tetsuji

業務本部 総務人事部長
兼
ブランディング推進部長

出身
京都府（京都在住）

職務概要

- キャリアの大半を人事領域中心に過ごし、2010年に前身会社である住化エンビロサイエンスに入社。
- 2014年4月に住友化学のグループ会社間の合併により設立された住化エンバイロメンタルサイエンスにて人事制度統合、制度基盤整備、組織風土変革等に注力。
- 2020年度より取組みを開始した健康経営の推進責任者として健康経営優良法人認定を主導。

趣味・スキル

サウナー

銭湯

立ち飲み

B級グルメ

野球

ラグビー

読書

出身地記憶

目次

Table of Contents

- 01 会社概要
- 02 事業内容
- 03 健康経営推進における当社の特徴・強み
- 04 健康経営開始のきっかけ
- 05 健康経営開始の背景と目的
- 06 健康経営の歩み
- 07 具体的取組み
 - 07-1 人間ドック無償化
 - 07-2 婦人科健診無償化
 - 07-3 ウォーキングイベント（SES歩活）
 - 07-4 健康セミナーの開催
 - 07-5 SES健活リレー
 - 07-6 SNSでの広報活動
- 08 働き方改革
- 09 取組みの成果

会社名	住化エンバイロメンタルサイエンス株式会社（SC Environmental Science Co., Ltd.）	
事業内容	家庭用殺虫剤・環境管理薬剤・白蟻防除用薬剤・木材保存剤・工業用殺菌剤・動物用医薬品等の開発／製造／販売	
設立	2014年（平成26年）4月1日 ※住化ライフテック、住化エンビロサイエンスの合併による	
本社所在地	大阪市中央区道修町 2 - 2 - 8 住化不動産道修町ビル	
事業所	東京支店・福岡支店・宝塚研究所・八鹿工場	
代表者	代表取締役社長 守屋 元晴	
資本金	2,000万円	
株主	住友化学株式会社（100%）	
売上高	75億80百万円（2025年3月期）	
従業員数	196名（2025年3月期）	男性 123名／女性 73名
平均年齢	47.5歳（2025年3月期）	男性47.6歳／女性47.5歳

コンシューマーソリューション事業部

【ホームプロダクツ営業部】

- ・ 家庭用（自社ブランド）
- ・ 家庭用、ペット用受託



プロフェッショナルソリューション事業部

【TCO営業部 / PCO営業部】

- ・ 白アリ薬剤（TCO）
- ・ 業務用殺虫剤（PCO）



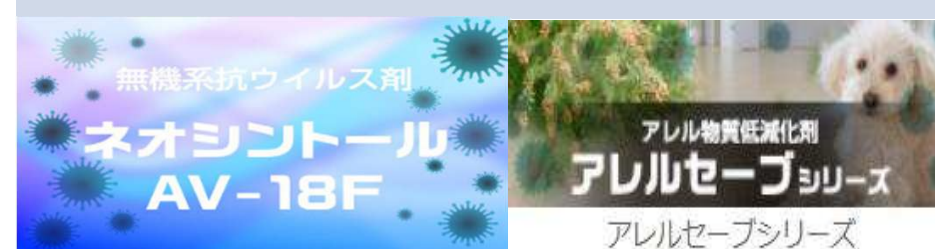
【アニマルヘルス営業部】

- ・ 畜産用殺虫剤（動物用医薬品）
- ・ 畜産用消毒剤（動物用医薬品）

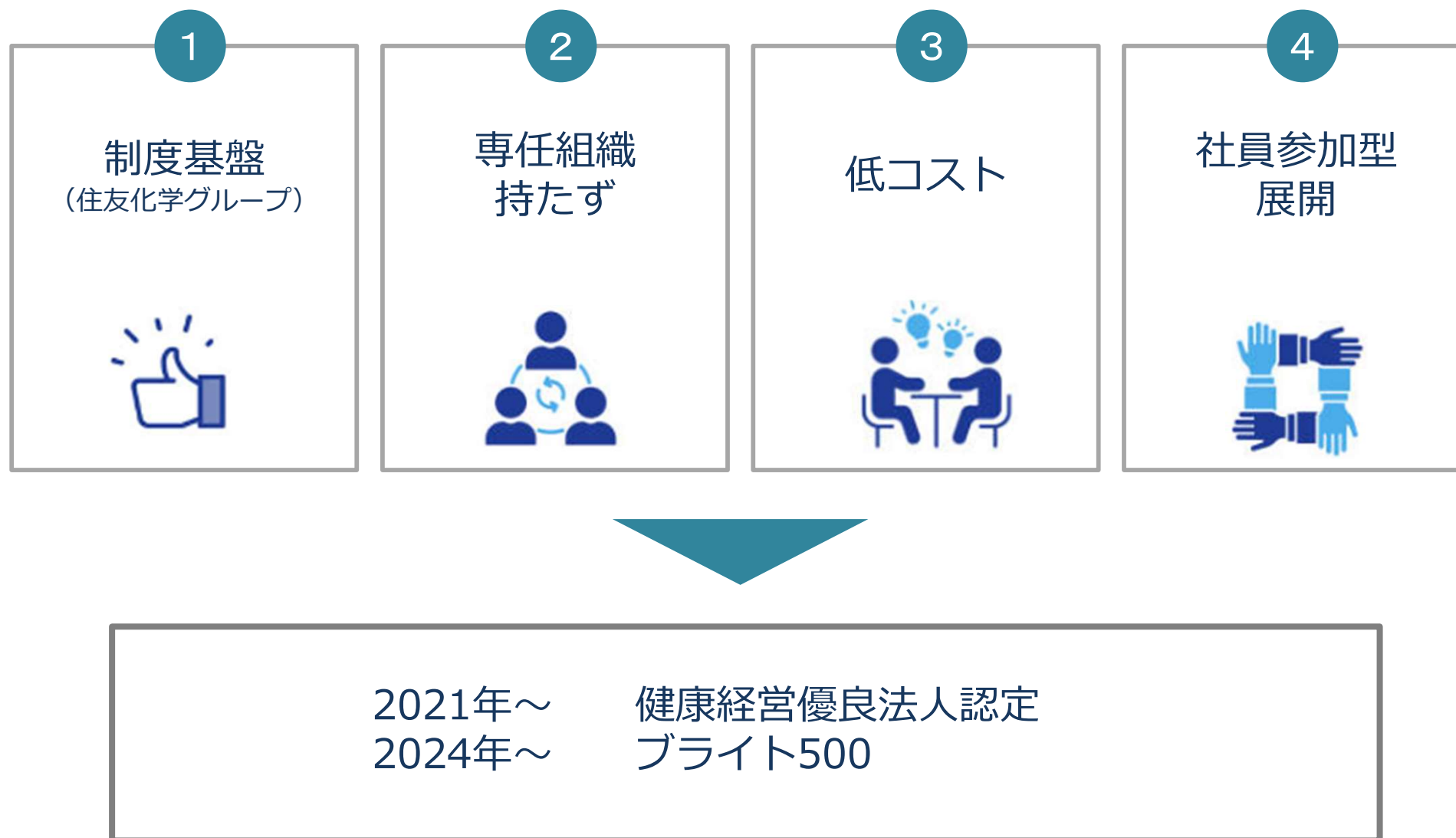


【精密化学品営業部】

- ・ 抗菌防カビ防腐剤
- ・ 抗ウイルス剤
- ・ 木材保存剤



イノベーションを通じて川下化、新規事業への展開を図り、生活環境分野に常に新しい風を
吹き込み、サステナブルな貢献ができる信頼されるフロントランナーであり続ける



2014年

当社発足

2018年2月

初代社長から病床より1通のメール

「がんと仕事の両立支援&朝型ワークの推奨」

(2018年2月3日付朝日新聞1面_伊藤忠商事様)

2018年10月

初代社長がんにより逝去

2019年 社内イノベーションアワード

「健康経営の推進」エントリー

「奨励賞」受賞



伊藤忠商事専務執行役員CAO 小林 文彦さん(60歳) **がんでも居場所はここだと**

「がん」という言葉は、昔は「不治の病」として、多くの人にとって恐怖の代名詞だった。しかし、近年は医療の進歩により、がんは「治癒可能な病気」へと変わってきている。伊藤忠商事の専務執行役員CAO、小林文彦さん(60歳)は、がんを患った経験から、がん患者の生活を支えるための取り組みを推進している。

小林さんは、がんを患った経験から、がん患者の生活を支えるための取り組みを推進している。がん患者の生活を支えるためには、がん患者の生活を支えるための取り組みが必要である。がん患者の生活を支えるためには、がん患者の生活を支えるための取り組みが必要である。

経営者がこうした取り組みを
先頭切って、継続してやらないとダメだったと
知りました。

私はなぜこういうことが出来なかったか？

自責の念に駆られますね・・・。

こういう改革をすすめようと思うとトップの強い
信念が必要です。それをフォローする人事の
共鳴する後押しも必要。

私はサボってました・・・

背景

社員の高齢化

健康リスク&パフォーマンス低下

社員の多様なオリジン（合併会社）

社内融和&コミュニケーション活性化

目的

～社員の「幸せ」を第一に考える総務人事部を目指して～

心身ともに健康である
個人



コミュニケーションが活発である
組織

持続的に成長・発展していく
会社

「健康経営優良法人」認定を最終ゴールとすることなく、
長期継続的かつより本質的な健康経営を推進

2024年より2年連続「健康経営優良法人 ブライト500」に選出されました。



三本柱を中心に具体的取組みを進める（2020年度～）

健康診断制度拡充

人間ドック
50歳以上無償化

有所見者フォローアップ
健診無償受診

ストレスチェック
100%受検

婦人科健診無償受診

健康リテラシー向上

運動
ウォーキングイベント
SES歩活

健康経営を通しての
社内コミュニケーション
促進イベント

フィジカルヘルス・メンタル
ヘルス・食事・睡眠・喫煙・
女性の健康
セミナー

働き方改革

コアタイムなし
フレックスタイム制度
テレワーク拡充（2022年～）

法定基準超
年次有給休暇付与

有給休暇
計画的一斉付与拡充

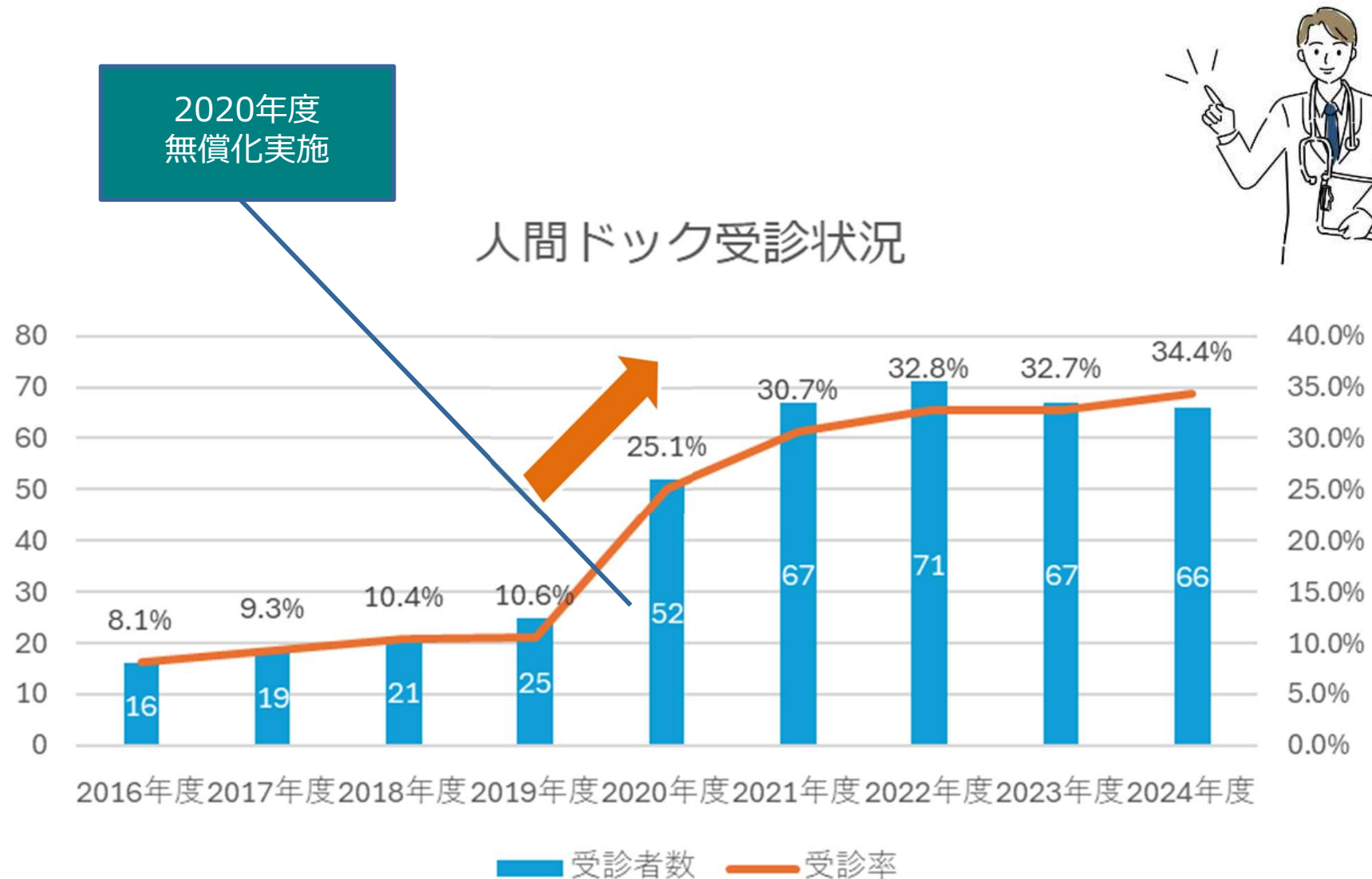
特別保存休暇
（未消化有給休暇の私傷病
事由取得）

長時間労働対策
（法定基準超産業医面談）

健康診断制度拡充

2020年4月より、人間ドック無償化（50歳以上）施策スタート

人間ドック無償化施策が浸透し、受診者数・受診率ともに年々増加



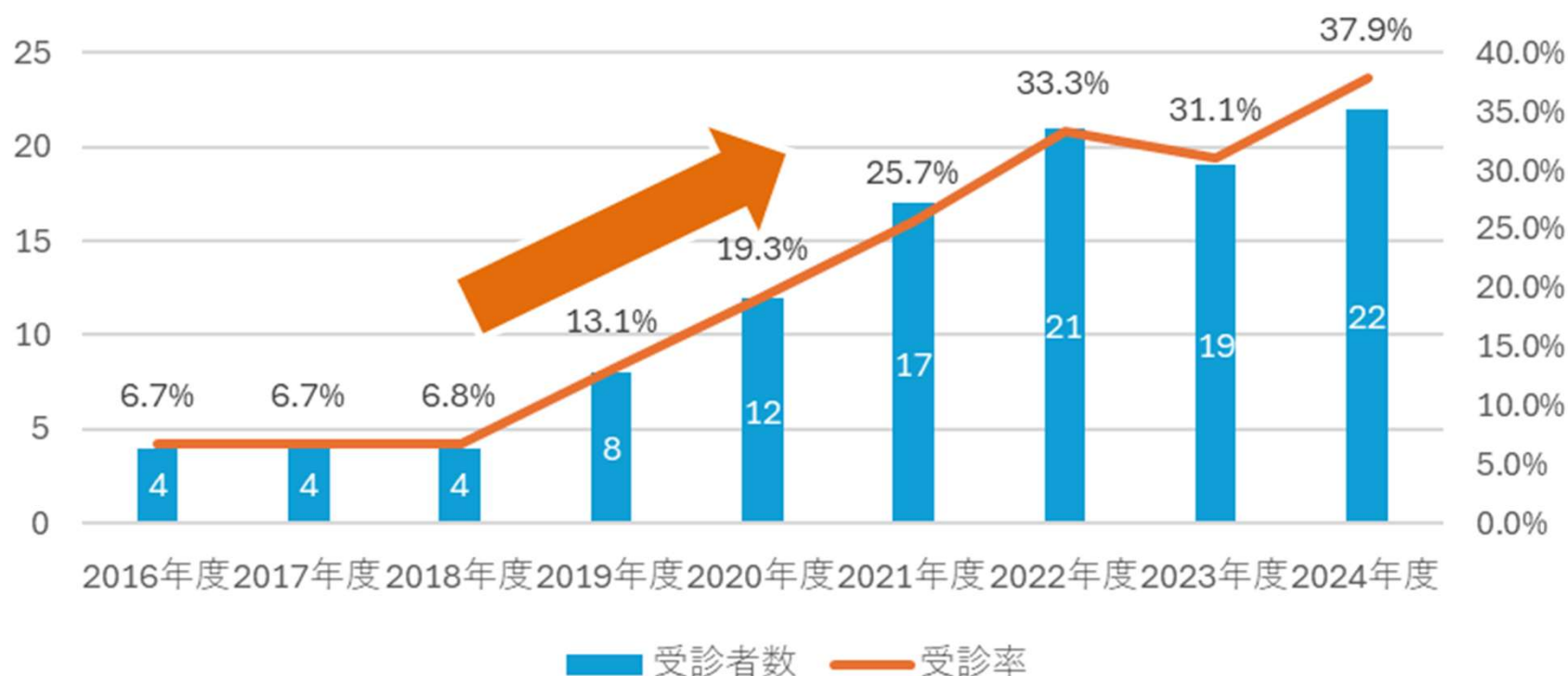
人間ドック無償化により、オプション検診の受診が容易となり、

オプションでの婦人科健診（※）の受診者数・受診率についても年々増加

※子宮がん検診、乳がん検診



婦人科健診受診状況



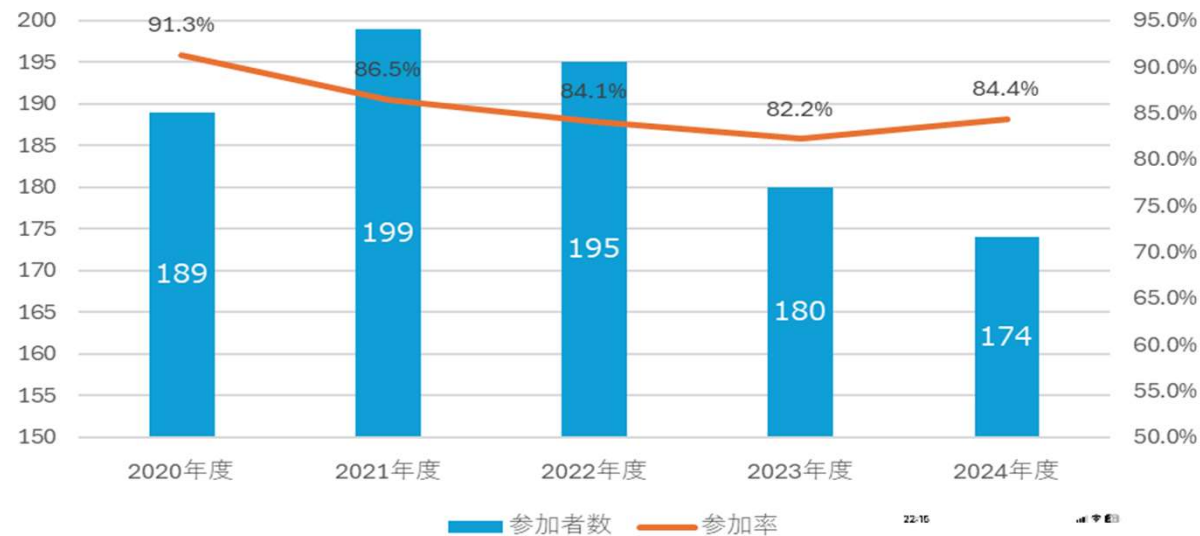
健康リテラシー向上

2020年度より毎年11月に開催（1ヵ月間）

参加者数・参加率とも非常に高く、毎年盛り上がりを見せるイベントとして定着

部対抗コンペ、達成賞（8,000歩/日）、写真コンテスト（ウォーキング風景等）開催

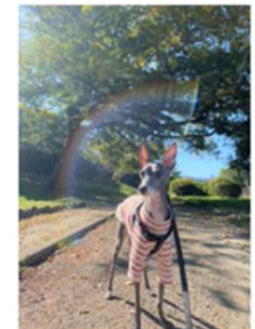
ウォーキングイベント参加者推移



スマホもって歩くだけ
全社員の状況が見えるから
盛り上がる！
ウォーキング風景も
Teamsに投稿



(^^)
一緒に「歩活」している相棒です
那珂川沿いは、とても長閑でした～



写真コンテスト開催（By Teams）



投稿写真を
2025年カレンダーに展開



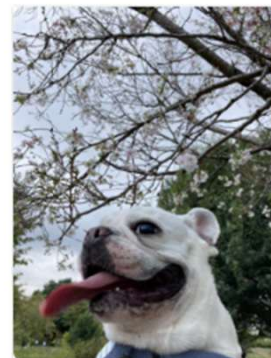
我が家の癒やし 🐱

不思議な寝方をしていました。
おそらく【香箱座り】～【ツチノコ寝】への変形過程かと思われます。
テーブルから落ちませんように。。



お犬様

我が家カーズの頂点に居られるお犬様です。
近所の公園で季節外れのサクラか!?と思いきや、
「十月桜」という品種だそうです。



健康経営 × 社内コミュニケーション
いいね数を競います！

写真コンテスト開催（By Teams）



11/4に竹田城跡に行ってきた時の写真です。雲海がなかなか切れてくなくて見えた瞬間を捉えて撮りました。
表示数を減らす



曾爾高原

噂通り見事な金色の景色が広がっていました



詳細を表示



健康経営 × 社内コミュニケーション

いいね数を競います！

写真コンテスト開催（By Teams）

サラメシ部門



今日のお弁当。緑の野菜はししとうではなく、青唐辛子です。
表示数を減らす

👍 20 🍴 1 🗣️



詳細を表示

👍 17 🤔 🗣️

最後のサラメシは三色丼です。
一ヶ月間ありがとうございました。



表示数を減らす

👍 16 🗣️



歩活最後のサラメシ

健康経営 × 社内コミュニケーション × 食生活

いいね数を競います！

1月の社長年頭挨拶時に併せて表彰式を開催



歩数平均に応じて団体表彰・個人表彰を実施

達成者（8,000歩/日）には、当社社員イラストによる達成賞景品クオカードを授与

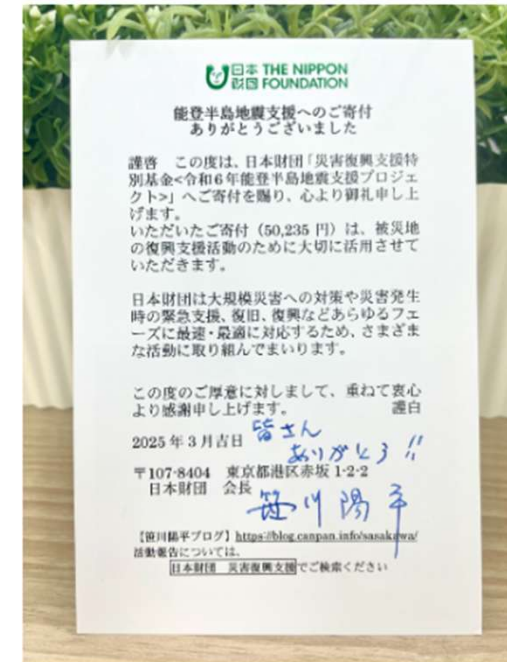
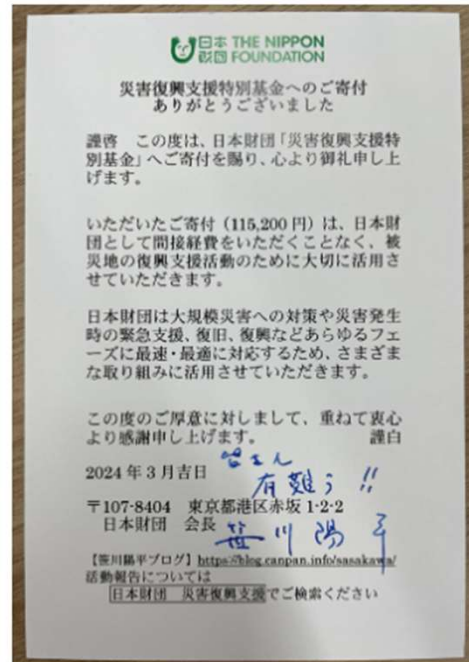


『Around The Earth』キャンペーン

「～一人ひとりの一歩は小さくても、全社一丸となって地球一周を目指そう～」
をスローガンに、
2023年度歩活より、参加者への奮起を促す取り組みを
スタートしました。

その結果、参加者合計43,563kmの歩行距離となり、地球1周を達成いたしました。

達成者数に応じた寄付の実施（令和6年能登半島地震）



健康経営 × CSR

「みんなで歩いてチャリティー」として、
2023年度歩活では、「達成者数（8000歩/日）×900円」を
2024年度歩活では、「参加者全員の歩数合計1,000歩につき1円」を
令和6年能登半島地震の被災者支援として
「日本財団」を通じて寄付を行いました。

参加者からは、
「自分の健康維持だけでなく、誰かのためにもなる1歩として新たな目標となった。」
との声もあがりました。

2019年度より集合型およびオンラインで健康セミナーを開催

各回、積極的な参加状況（HPに公開）

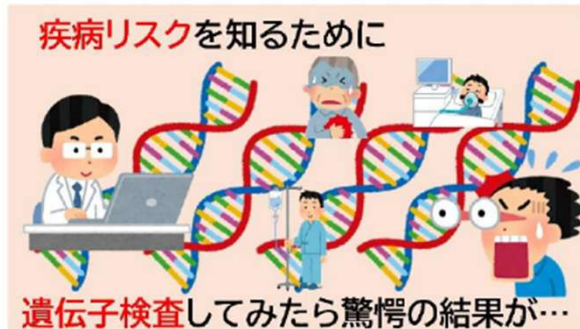


セミナー内容	参加人数	参加率
婦人科セミナー（女性社員向け）	62人	70.4%
メンタルヘルスケアセミナー	190人	80.1%
健康リテラシーセミナー	190人	81.8%
健康診断読み解きセミナー	151人	65.0%
睡眠講座	187人	78.9%
健康増進セミナー	72人	45.0%
卒煙セミナー	18人	8.0%
ウォーキング効果UPセミナー	51人	22.0%
マインドフルネスセミナー	139人	63.1%
フィジカルヘルスセミナー	127人	56.6%
がんセミナー	90人	41.6%
心のリラクゼーションセミナー（女性社員向け）	51人	61.4%
食事とメンタルセミナー	96人	47.2%
メンタルヘルスセミナー（睡眠）	113人	58.2%
前立腺がんセミナー（男性社員向け）	44人	37.8%

健康リテラシーの向上

2023年度から健康に関するブログやコラムを社員が毎月投稿 次回投稿者を指名するリレー方式のイベントを実施・継続中

さて本題に移りますが、今回は2つのトピックで私の健康活動を紹介していきます。



話は歩活に戻ります。最終日が週末だったこともあり、早朝 20 km 走り、その後 37 km 歩きました。これまた健康増進イベントという趣旨からは如何なものかと思いますが、確実に勝てる方法をとりました。相手の想像を超えていかなければ勝てない！という強迫観念から、暴挙に出していました。次回は自制したいと思います。

ランニングもゴルフもまだまだ初心者レベルですが、ご興味のある方がいらしたらお声掛けください。一緒に大会に参加、もしくはラウンドしましょう！

ゆるいお話でしたが、お話に最後までお付き合いいただきましてありがとうございました。



2024 年 3 月の丹波篠山 ABC マラソン結果

何とかサブ 3 を達成しました！



最後に元気そうな私の写真を貼って長い長い自己紹介を終わりにします。

新卒採用広報活動に健康経営関連情報を発信



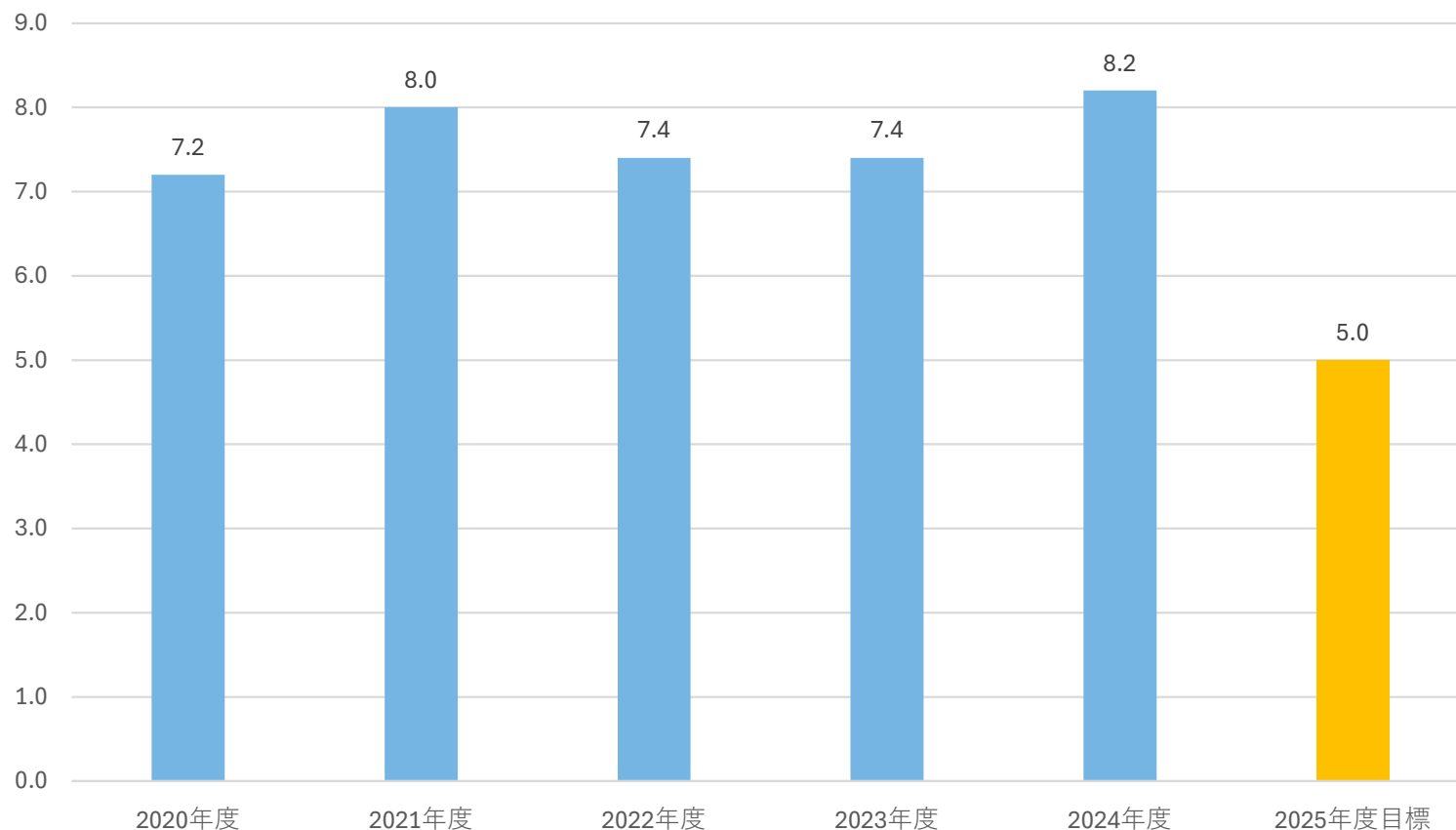
働き方改革

2017年より「働き方改革」の取組み開始

健康経営を推進するうえで、時間外勤務の削減や有給休暇の取得率向上に取り組み、

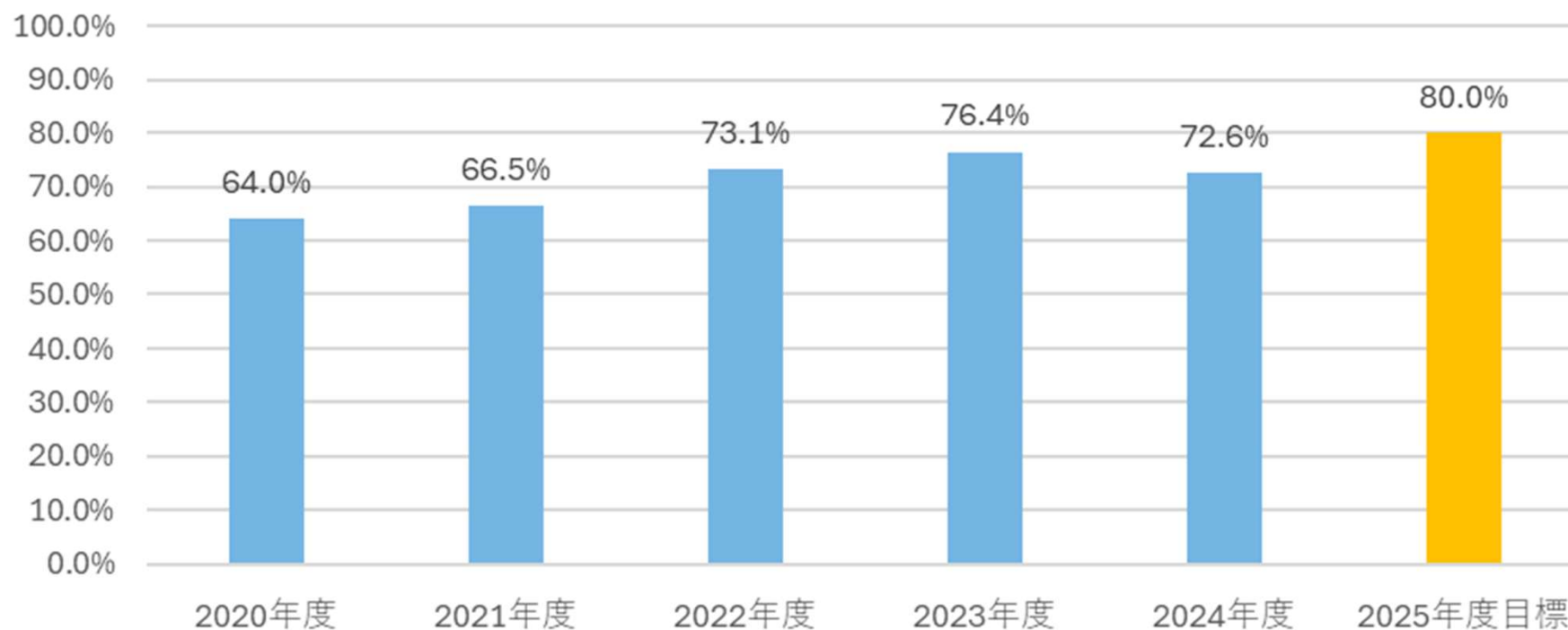
「しっかり働き、しっかり休む」「時間をかけて良い仕事をする」から「有限の時間の中で最大限の成果を出す」働き方への意識変革や職場風土づくりを通して、ワーク・ライフ・バランスの推進を図っています。

所定外労働時間（月）

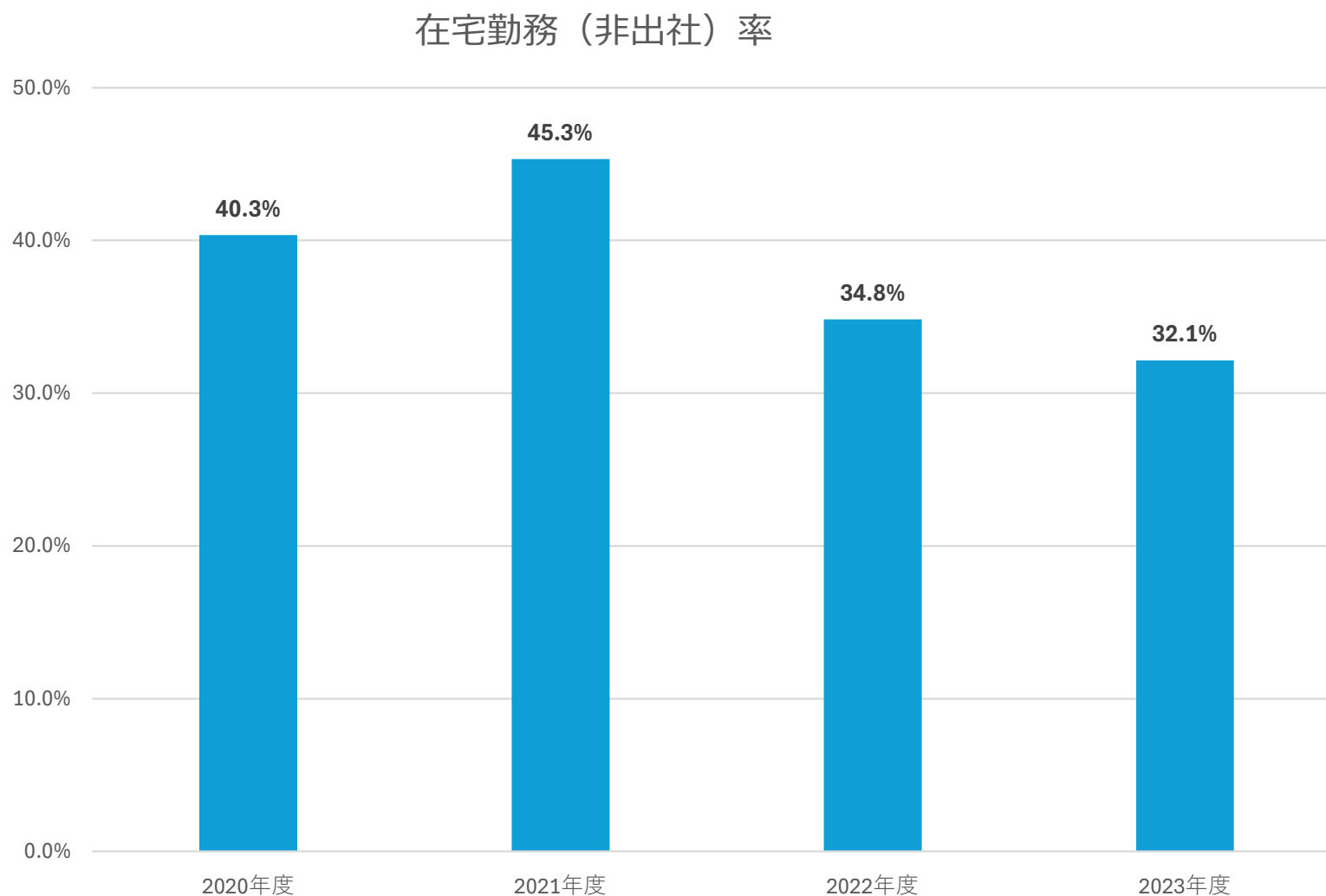


2022年度に国の取得目標70%を超え、取得率が大幅に上昇

有給休暇取得率（年）



2020年度新型コロナ対策以降、在宅勤務を導入
2022年度正式制度化（在宅勤務最大8日/月）
通勤交通費支給も6ヵ月分の定期代支給から出勤日に応じた実費支給に変更



取組みの成果

健診関係受診率

健康診断関係	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2025年度 (目標値)
定期健診受診率	100%	100%	100%	100%	100%
人間ドック受診率	25.1%	30.7%	32.8%	32.7%	40.0%
特定保健指導実施率	0%	0%	85.2%	94.1%	100%
ストレスチェック受験率	99.5%	98.2%	98.6%	100%	100%

生活習慣改善

	生活習慣	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2025年度 (目標値)
運動	週2日以上の運動習慣がある	40.8%	38.9%	43.9%	54.9%	50.0%
食事	バランスの良い食事をとる	76.8%	81.0%	80.8%	82.3%	90.0%
飲酒	週2日以上の休肝日を持つ	77.0%	75.9%	75.7%	76.2%	80.0%
睡眠	睡眠で休養が十分とれている	51.5%	54.6%	52.8%	77.7%	60.0%
喫煙	喫煙している従業員の割合	17.3%	17.1%	17.3%	16.6%	10%以下

SDG s の17の目標のうち、6つの目標に向けた当社の取組みが
日本SDG s 協会の事業認定を取得しました。



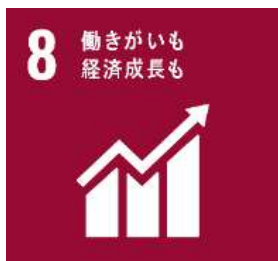
すべての人に健康と福祉を

あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する。



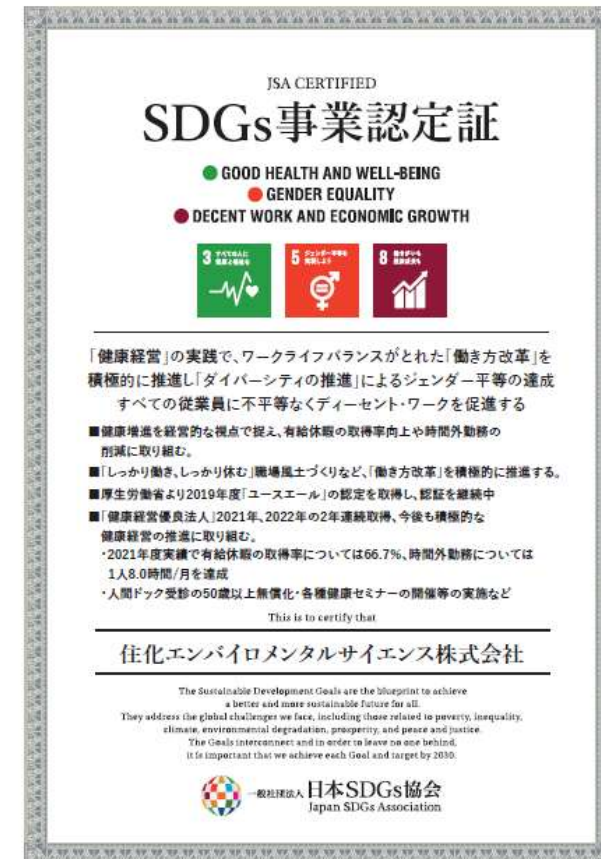
ジェンダー平等を実現しよう

ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う。



働きがいも経済成長も

包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する。



「健康経営」の実践で、ワークライフバランスがとれた「働き方改革」を積極的に推進し、
「ダイバーシティの推進」によるジェンダー平等の達成
すべての従業員に不平等なくディーセント・ワークを促進する。

「やってみよう」が私たちのコアバリューです。

1. 想像しよう、わくわくしよう。
2. 疑問を持とう、創りだそう。
3. つながろう、つなげよう。
4. より添おう、みとめ合おう。
5. ふみ出そう、こえていこう。

想像しよう。まだ見ていない世界に、新しい「きづき」がある。

常識を疑おう。未知への好奇心と遊び心を武器に、新しい当たり前を創造しよう。

心躍らせよう。「好き」、「得意」は能力だから。

一人ひとりが個性を活かそう。心のうちの「やりたい」に素直になろう。

互いを理解し、違いを認め合い、支え合おう。つながることでもっと強くなれる。

遠慮せず、臆せず、それぞれのはじめの一步を踏み出そう。皆でこえていこう。

少しずつでも変わる。変えられる。

だから、

やってみよう。

Let's be Adventurous

— 夢に挑戦し続ける —





Let's be Adventurous
—夢に挑戦し続ける—



誰もが心身ともに健康で、長くイキイキと働ける会社を目指して、
今後も健康経営に取り組んでいきます。

ご清聴ありがとうございました。